

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 あいさつ

総務部長よりあいさつ

2 自己紹介

委員及び事務局より自己紹介

3 協議事項

（1）岩倉市男女共同参画基本計画の進捗状況について

【資料3】を用いて、各委員からの質問事項及びそれに対する担当課の回答について、取り組む施策ごとに検証した。以下、議論のあった設問についてのみ記述する。

1-1-(1)

委員長 協働安全課の所掌事務に防災に関しての記載がないが、防災は違う課が担当をしているのか。

事務局 今回のご質問の内容がDVに関するものでしたので、男女共同参画と生活安全に関する所掌事務を記載させていただきました。協働安全課全体の所掌事務として、防災に関する内容も含んでおります。

委員長 防災訓練での炊き出しなどは女性が行うものとなっているように感じられます。防災の分野に関しても、男女共同参画を実践していただきたいです。

1-2-(2)

委員長 65歳の集いの参加者が63人ということですが、岩倉市全体で65歳は何人いるのか。

委員 ちょうど先日、今年度の65歳の集いの実行委員会に参加したが、昨年度の対象者数は530名ほどで、約7%の方が参加をしたと聞いています。

委員長 65歳の集いの開催目的を一定果たせているとのことだが、実際に参加者の市民活動団体への加入に繋がっているのか。

委員 生涯学習センターフェスティバルでは、フェスティバルがきっかけで新規会員が入ったと聞いています。65歳の集いに関しては、市民活動団体への加入に直接繋がる内容にするのか、実行委員会でも議題に上がっています。より多くの人に参加してもらえる内容にし、その人たちに市民活動団体がどのような活動を行っているか知ってもらうきっかけとするのもいいのではないかと意見が出ていました。

委員長 65歳は一つのターニングポイントとなるので、65歳の集いを引き続き行っていただければと思います。ただ、65歳から新たに活動を始めるとそこから一定期間

の準備期間が必要となるため、60代前半の方も取り込んで、65歳から本格的に活動ができる取り組みにしてもいいのではないかと思います。

市民活動支援センターでの男女共同参画に関する市民活動の取組の支援で、性の多様性について理解を深めるための取組を行っている団体の支援を行っているという記載があるがどのような団体か。

事務局 市民活動支援センターに登録している団体でスターレインボーという団体があり、この団体が性の多様性について理解を深めるための取組を行っています。

1-3-(3)

福祉課長 回答では把握していないとありますが、正確にはこのような施設の情報は非公開となっているため、把握できていないということです。ただ、岩倉市内にはないと聞いています。

委員長 外国籍の人たちの場合もこのような対応となるのか。

福祉課長 国籍は関係なく同様の対応となります。小学校就学前児童に関しては、子育て支援課で保護者の育児に伴う心理的・精神的負担の解消を目的とした、リフレッシュ保育を実施しておりますので、これを活用することで保護者のリフレッシュを行うことができます。

1-4-(1)

委員長 生涯学習講座の申込に性別が必要とのことですが、選択式から記述式への変更はされているのか。

事務局 生涯学習講座に限らず、今年度、全庁的に申請書等の性別欄の見直しに関する照会を行いました。資料4の男女共同参画関連の事業等の別紙に取りまとめてあるものになりますが、各課で性別欄が本当に必要か整理してもらい、必要なものについても可能なものは記述式に変更してもらえとのことでした。

1-4-(3)

委員長 平成26年と比較し、ベトナム人の人口は増加しているが、ポルトガル語の対応だけで精一杯ということか。

事務局 その通りです。

委員 岐阜県可児市では、テレビで取り上げられるほど力を入れて新規の外国籍生徒が日本に慣れるようプレスクールを実施していると聞いているが、受入生徒数が増加し、今後の継続が危ぶまれていると聞いている。

事務局 岩倉市では、プレスクール、取り出しによる個別指導、初期集中指導を実施しているほか、岩倉東小学校ではポルトガル語・日本語適応指導教室を早くから取り組み新規の外国籍生徒が日本に溶け込みやすい環境を整えています。

2-1-(1)

委員 養育支援が必要な場合に、家事援助を行うとのことですが、だれでも受けることができるのか。

委員 家事が負担になっているなど、うまく育児ができない人に家事援助を行うもので、誰でも利用できるわけではありません。

委員 家事援助を利用する際に、利用者から申請が必要となるのであれば、利用のハードルが高いと感じるが。

委員 訪問や面談などの育児支援を行っている中で、家事援助が必要だと判断されれば、家事援助を行うものなので、申請は必要ありません。

2-1-(3)

委員 歩きタバコに関して、岩倉駅での禁煙が実施されており、朝の通勤時間帯に駅に向かって歩いている最中にタバコを吸い、駅に入る直前で吸い殻を路上に捨てるという光景をよく見かける。啓発活動を行うのであれば、通勤時間帯に行えば有効ではないか。

2-4-(1)

委員 学習支援事業の案内を行っているとのことだが、どのようなことを行っているのか。

福祉課長 毎週水曜日の午後7時～9時にこどものまち保育園で生活困窮者に対する学習支援事業を行っています。

3-3-(3)

委員長 一般的に、女性社員の保活は厳しいと聞いているが、岩倉市では待機児童はいるのか。

委員 いません。

委員 配偶者がいる場合は、介護保険制度でヘルパーを利用することができないと聞いたことがあるが、そうなのか。

委員 利用することができますので、状況に応じて対応をさせていただきます。

4-1-(1)

委員長 女性登用率の2020年の目標が35%となっているが、他の県内市町村では目標を40%としているところもあるので、検討をしていく必要があるのではないか。

事務局 来年度に予定しております次期計画の作成の際には、それも含めて検討していきたいです。

4-2-(2)

委員長 子どもが小さい頃にサークル活動をしているお母さんは多いが、子供の成長とと

もに働きだし、サークル活動からフェードアウトしてしまうので、そのようなお母さんをつなぎとめていく必要がある。

委員 母親クラブに入っている人は何人いるのか。

委員 22人です。

委員 以前は各児童館に母親クラブがあったと思うが、22人とは市全体の人数なのか。

委員 その通りです。各児童館のイベントや市全体の児童館イベントのお手伝いをしていただいています。

4-3-(4)

委員長 市民意向調査で防犯面における不安が大とのことだが、岩倉市では犯罪が多いのか。

事務局 岩倉市では自転車盗が多いので、不安に思われる方も多いのかと思います。また、全国で事件が起きると市民の方の不安も大きくなると考えられます。

(2) 男女共同参画関連の事業等について

【資料4】を用いて、事務局が今後の事業について案内した。

4 その他

特になし

以上